

科目名	木型調整			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	整形靴科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
靴を製作するために必要な木型の調整方法を学ぶ。整形靴技術では個々の足の状態に合わせて木型を製作し、修正を行うが、この講義では既成の木型の調整・修正方法を習得することを目的とする。また、仮合わせで使用されるチェックシューズの製作方法と、仮合わせの方法・手順を習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
まず講師が木型の製作・調整方法等について講義をし、その後修正方法のデモンストレーションを行う。学生は次の工程のデモンストレーションまでに修正を進めていく。製作途中、または完成後に講師がチェック・評価を行う。本実習の製作課題は、木型の修正→Footbedの製作→チェックシューズの製作→仮合せ→木型の再修正の順に進んでゆく。								
〔講師の実務経験〕								
鈴木義肢装具株式会社にて義肢装具士として医療用整形靴・足底板の採型・適合を含む病院営業、整形靴・足底板製作を含む義肢装具製作に従事。靴工房ハンザワにてオーダーメイド靴製作、整形靴製作に従事。ザニーツハウスボスクにて義肢装具士として病院営業と一部製作業務を担当。特に、整形靴の採型・木型製作・製甲・底付け・適合業務、足底装具製作、下肢を中心とした義肢装具に精通している。								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
①木型修正に必要な足の周径の採寸ができる ②フットプリントに合わせて既成の木型の足底面の修正ができる ③採寸した周径に合わせて、適切な削り修正・盛り修正ができる ④チェックシューズの製作ができる ⑤仮合わせを正しく行い、木型の再修正ができる								
回数	講義内容							
1	フットプリント・採寸							
2	インソールパターンの製作							
3	削り修正(足底)							
4	削り修正(足底)							
5	削り修正(周径合わせ)							
6	盛り修正(周径合わせ)							
7	盛り修正(周径合わせ)							
8	盛り修正(周径合わせ)							
9	木型修正仕上げ							
10	Footbed製作							
11	Footbed製作							
12	Footbed製作							
13	Footbed製作							
14	Footbed製作							
15	Footbed製作							
16	チェックシューズ製作							
17	チェックシューズ製作							
18	チェックシューズ製作							
19	チェックシューズ製作							
20	仮合せ							
21	仮合せ							
22	木型の再修正							
23	木型の再修正							
〔準備学習・時間外学習〕								
〔使用テキスト〕								
書籍名			著者名			出版社		
整形靴の基礎知識						JESC		
〔単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)〕								
実習中の製作物で評価する								